

株式会社 松屋 2018年11月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	5.2	5.3
② 銀座店	6.0	7.5
③ 浅草店	-4.0	1.6

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
銀座本店	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7	-1.9	6.9	2.0	4.2	5.2
松屋銀座	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7	-1.6	7.4	2.0	4.4	6.0
松屋浅草	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7	-5.6	0.7	1.3	2.7	-4.0

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、婦人衣料品において平年より高い気温の影響もあり、ニット・ブラウス等の軽衣料は好調も、防寒衣料最盛期におけるコート・ジャケットの売上は、やや苦戦いたしました。食品は、9月にリニューアルオープンした和洋菓子、また、和洋酒が堅調に売上を伸ばし、また、お歳暮ギフト商戦も好調に推移しました。免税売上高につきましては、化粧品が前年に対して2桁増となる等、引き続き全体を強く牽引しました。一方、免税売上を除いた国内のお客様の売上も、各種販売促進策が奏功し4.5%の伸びを示しました。なお、銀座店全体は前年に対して土曜日1日減の営業条件(その影響度合いは1.4%減)はあったものの、売上高は4ヵ月連続で前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、化粧品・和洋菓子が好調も、生鮮三品・惣菜の売上高が伸び悩み、店全体では前年を下回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	5.8	5.7
婦人服・洋品	2.0	2.6
子供服・洋品	-14.2	-14.2
呉服寝具他	-5.2	-4.9
衣料品計	1.8	2.3
身廻り品	7.6	7.7
雑貨	5.9	5.9
家具	22.6	22.1
家電	34.0	35.0
家庭用品	24.0	22.4
家庭用品計	23.7	22.9
食料品	0.6	2.2
食堂・喫茶	-2.5	-2.5
サービス、その他	58.6	63.0
合計	5.2	6.0

商品別概況(銀座店)

- *化粧品は、国内外のお客様の旺盛な買上動向が継続しており、売上高は前年に対して二桁増で推移しております。
- *婦人衣料品は、キャリアでコート等の重衣料がやや苦戦しましたが、高価格帯のゾーニングにおいては、ジャケット等の好調が牽引し前年に対して二桁弱の伸びを示し、引き続き堅調に売上を伸ばしています。

※「2018年12月上報告」は、2019年1月4日(金)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639